

2025年2月18日

第四回花粉飛散予想を発表 花粉観測機「ポールンロボ」がスギ花粉の飛散を検知
1都19県でスギ花粉の飛散開始、西・東日本では来週以降に飛散が本格化
～1時間ごとの花粉飛散予報や通知サービスをウェザーニュースアプリで無料提供～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、花粉観測機「ポールンロボ」による花粉観測や、ウェザーニュースアプリのユーザーからの花粉症の症状報告を総合して、関東や九州など1都19県が2月17日までに花粉シーズンに入ったことを発表しました。3連休にかけて冬型の気圧配置が続くため花粉の飛散は比較的抑えられますが、来週以降はスギ花粉の飛散エリアが急速に拡大する予想です。西日本と東日本ではスギ花粉の飛散開始後すぐに本格化し、3月中旬から下旬まで続きます。3月下旬から4月中旬には西日本と東日本の各地でヒノキ花粉が本格的に飛散する見込みです。

一度飛散が始まると気温が低い日でも花粉が飛びやすくなります。また気温が15℃を上回り、風の強い日には大量飛散のおそれがあります。花粉症の症状が出る方はマスクや目薬などで万全の対策をとるようにしてください。外干した布団や洗濯物は、よくはたいてから取り込むことが有効です。

なお、ウェザーニュースアプリの「花粉飛散情報」では、1時間ごとのピンポイント飛散予報や、リアルタイムの飛散状況、通知サービスなどを無料で提供しています。花粉症対策にお役立てください。

✓ポイント

1. 関東や九州など1都19県で花粉シーズン開始、来週以降は西・東日本の広範囲で飛散開始
2. 西・東日本ではスギ花粉の飛散開始後すぐに本格化、3月下旬からはヒノキ花粉が増加
3. 飛散量は西・東日本で平年を上回る予想、西日本は過去10年で最多に匹敵するおそれ

毎日の花粉予報や花粉観測データはこちら

スマホアプリ「ウェザーニュース」をダウンロード
<https://weathernews.jp/app/>

ウェザーニュースウェブサイト「花粉飛散情報」
<https://weathernews.jp/s/pollen/>

◆ <速報>1都19県で花粉シーズン開始

ウェザーニュースの分析では、2月15日に東京都が花粉シーズンに入りました。昨年よりも2日遅い飛散開始となります。1月25日に福岡県が花粉シーズンに入った後、徐々に花粉飛散のエリアが拡大しています。2月17日までに1都19県で花粉の飛散が始まったとみています。また、神奈川県と静岡県では2月17日に花粉の本格シーズンに入りました。



▼各地の飛散開始日

- 1/25 : 福岡県
- 1/29 : 三重県 神奈川県
- 2/4 : 静岡県
- 2/13 : 大分県 長崎県
- 2/14 : 徳島県
- 2/15 : 東京都 千葉県 埼玉県 群馬県 栃木県 茨城県
- 2/17 : 鹿児島県 熊本県 愛媛県 山口県 鳥根県 和歌山県 山梨県

スギの雄花は暖くなると花粉を飛ばし始め、特に風の強い日は飛びやすくなります。今シーズンは1月下旬に全国的に気温が平年を上回り、福岡県や神奈川県などでは平年よりも早くスギ花粉の飛散が始まりました。2月に入ると強い寒波による低温で花粉の飛散が抑えられましたが、先週後半からは寒気が北上して寒さが和らぎ、高気圧が接近して気温が上昇した2月15日に東京都を含む関東でも広く飛散が始まったと考えられます。

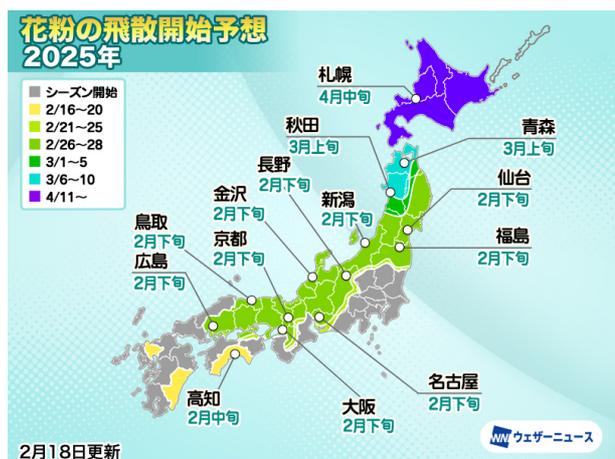
<花粉シーズンの定義>

花粉観測機「ポールンロボ」の観測に加え、ユーザーからの症状報告を加味しています。

- ・ 花粉シーズン開始: 都道府県内の3割以上のポールンロボが10個/日以上の花粉を2日連続で観測
症状が重い人、敏感な人に症状が出始める目安
- ・ 本格シーズン開始: 都道府県内の3割以上のポールンロボが30個/日以上の花粉を観測
花粉症の多くの人に症状が出始める目安

◆ 来週以降、西・東日本でスギ花粉の飛散エリアが急速に拡大

3連休にかけては冬型の気圧配置が続き、真冬並みの寒さになります。このため花粉の飛散が抑えられて、飛散開始となるエリアは九州や四国の一部のみとなりそうです。寒気が去る来週以降は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が周期的に変化します。低気圧が日本海を通過する日は暖かな南風が吹くため、花粉が飛びやすくなります。来週以降、3月上旬にかけてスギ花粉の飛散エリアは西日本と東日本、東北南部で急速に拡大し、3月上旬には東北北部でもスギ花粉の飛散が始まるとみています。



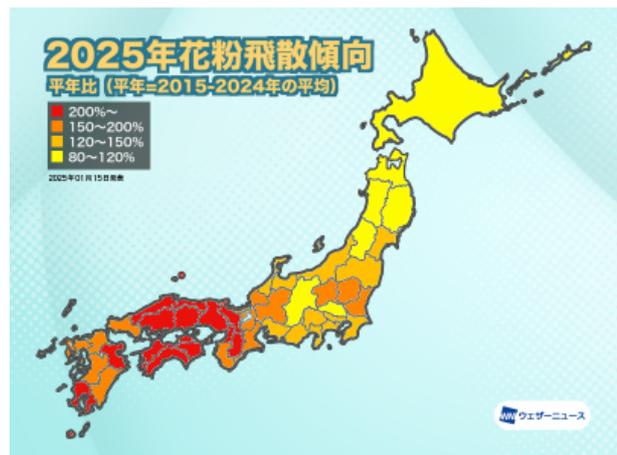
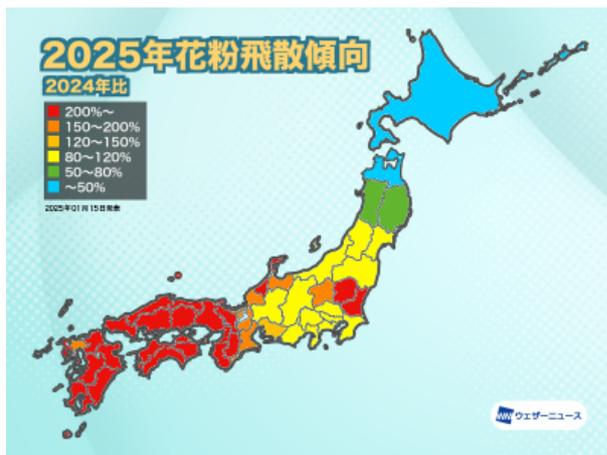
◆ 西・東日本ではスギ花粉の飛散開始後すぐに本格化、3月下旬からはヒノキ花粉が本格化

3連休にかけては冬型の気圧配置が続くため、スギ花粉の飛散が本格的に飛散する地域は静岡県周辺など太平洋側の一部の地域のみとなりそうです。来週以降は天気も気温も周期変化となる予想で、西日本や東日本ではスギ花粉の飛散が開始してすぐに本格化する可能性があります。北陸・長野と東北南部では3月上旬から、東北北部では3月中旬から、順次スギ花粉の飛散が本格化するとみられます。その後、西日本や東日本のスギ花粉は3月下旬には減少し、代わってヒノキ花粉の飛散が本格化します。ヒノキ花粉の本格的な飛散は4月中旬にかけて続く予想です。北海道でシラカバ花粉の飛散が本格化するのは4月下旬～5月中旬の予想で、ゴールデンウィークと重なるとみられます。



◆ 飛散量は西・東日本で平年を上回る予想、西日本は過去10年で最多に匹敵するおそれ

2025年春の花粉飛散量は西日本、北陸や関東北部の一部で2024年を大きく上回る一方、北日本では下回る地域が多い予想です。西日本では2024年の飛散量が非常に少なかったため、2024年比で800%を超える地域もあり、過去10年で最も多いか、それに匹敵する飛散量になるとみえています。一方、東北北部や北海道では2024年の飛散量が多かったため、2024年比で50%を下回る地域があります。東海の一部や関東南部と山梨、長野、東北南部では2024年並の飛散量と見込んでいます。全国平均では2024年比166%となる予想です。平年と比べると、西日本や東日本、東北太平洋側では平年を上回る地域が多く、特に西日本では200%を超える地域もあります。一方、北日本では平年並の地域が多い予想です。全国平均では平年比165%となる予想です。



* 第三回花粉飛散予想(1/15発表)から飛散量予想の変化はありません。詳細は「第三回花粉飛散予想」をご覧ください。
<https://jp.weathernews.com/news/50629/>

* 本プレスリリースでは、以下のように定義しています。
 天候の平年 : 1991～2020年の過去30年平均
 花粉飛散の平年 : 2015～2024年の過去10年平均

◆ 都道府県別の 2025 年花粉飛散予想

エリア	都道府県	花粉飛散量 (前年比:%)	花粉飛散量 (平年比:%)	花粉シーズン 開始日/予想	花粉シーズン 終了予想
北海道	北海道	48	84	4月中旬	6月上旬
東北北部	青森県	46	92	3月上旬	5月上旬
	岩手県	52	103	2月下旬	4月下旬
	秋田県	67	101	3月上旬	4月下旬
東北南部	宮城県	80	131	2月下旬	4月下旬
	山形県	82	92	2月下旬	4月下旬
	福島県	104	129	2月下旬	4月下旬
関東・山梨	茨城県	243	187	2月15日	4月下旬
	栃木県	215	198	2月15日	4月下旬
	群馬県	156	157	2月15日	4月下旬
	埼玉県	113	115	2月15日	4月下旬
	千葉県	113	132	2月15日	4月下旬
	東京都	108	146	2月15日	4月下旬
	神奈川県	104	146	1月29日	4月下旬
	山梨県	114	143	2月17日	4月下旬
北陸・長野	長野県	117	119	2月下旬	4月下旬
	新潟県	119	125	2月下旬	4月下旬
	富山県	177	147	2月下旬	4月下旬
	石川県	232	149	2月下旬	4月下旬
	福井県	170	151	2月下旬	4月下旬
東海	静岡県	104	148	2月4日	4月下旬
	愛知県	139	136	2月下旬	4月下旬
	岐阜県	112	160	2月下旬	4月下旬
	三重県	150	164	1月29日	4月下旬
近畿	滋賀県	159	167	2月下旬	4月下旬
	京都府	471	236	2月下旬	4月下旬
	大阪府	472	216	2月下旬	4月下旬
	兵庫県	453	250	2月下旬	4月下旬
	奈良県	267	238	2月下旬	4月下旬
	和歌山県	208	164	2月17日	4月下旬
中国・四国	岡山県	538	243	2月下旬	4月下旬
	広島県	690	256	2月下旬	4月下旬
	鳥取県	480	264	2月下旬	4月下旬
	島根県	349	223	2月17日	4月下旬
	山口県	382	178	2月17日	4月下旬
	徳島県	663	253	2月14日	4月下旬
	香川県	850	244	2月下旬	4月下旬
	愛媛県	587	217	2月17日	4月下旬
	高知県	440	208	2月中旬	4月下旬
九州	福岡県	247	151	1月25日	4月中旬
	佐賀県	189	168	2月中旬	4月中旬
	長崎県	218	177	2月13日	4月中旬
	大分県	410	205	2月13日	4月中旬
	熊本県	353	179	2月17日	4月中旬
	宮崎県	340	187	2月中旬	4月中旬
	鹿児島県	342	201	2月17日	4月中旬
全国		166	165	-	-

* 平年:天候の平年は1991~2020年の過去30年平均、花粉飛散量の平年は2015~2024年の過去10年平均

* 飛散量:花粉観測機「ポールンロボ」が観測すると想定される花粉数。過去のポールンロボの観測データをもとに予想を算出

◇ 参考: ウェザーニュースの花粉の取り組みについて
 <花粉飛散予想>

ウェザーニュースでは毎年、花粉の飛散量や飛散時期の予測についてまとめた「花粉飛散予想」を発表しています。花粉飛散予想では、過去の花粉飛散量や夏の天候、冬～春の天候の予想などの気象データ、雄花の着花量に関する調査の結果などをもとに、花粉の飛散量と飛散時期を予測します。雄花の着花量に関する調査としては、11月に全国のウェザーニュースアプリのユーザーと実施する雄花調査に加えて、12月に環境省から発表されるスギ雄花花芽調査の結果も用いています。

<全国 1,000 か所に展開する花粉のリアルタイム観測>

ウェザーニュースでは 2005 年から花粉の観測に取り組んでいます。一般のご家庭や病院、学校などのご協力のもと、独自開発した花粉観測機「ポールンロボ」を全国に約 1,000 台設置し、花粉のリアルタイム観測を行っています。ポールンロボは空気中の花粉を 1 分ごとに観測し、データをウェザーニュースに送信します。従来の花粉観測手法であるダーラム法によりも高頻度かつ高解像度で観測できる点が強みで、ポールンロボによる観測データはウェザーニュースの花粉情報サイト「花粉飛散情報」で確認することができるほか、毎日の花粉飛散予報にも役立てられています。



花粉観測機「ポールンロボ」

<花粉の新ランクに対応、1 時間ごとの飛散予報がわかる「花粉飛散情報」>

ウェザーニュースアプリでは全国各地の詳細な花粉情報を公開しています。1 時間ごとの花粉飛散予報やリアルタイムの飛散状況がピンポイントで確認可能です。花粉飛散予報は、日本花粉学会 花粉情報等標準化委員会により改定された新表示ランク(※1)に対応し、少ない/やや多い/多い/非常に多い/極めて多い、の 5 ランクで提供します。また、自分の花粉症のタイプが診断できる『花粉症チェックシート』や、毎朝の花粉予報や臨時の大量飛散情報をプッシュ通知する『花粉対策アラーム』など様々な機能で、花粉症の方がつらい季節を少しでも楽に過ごせるよう、対策をサポートします。



※1 日本花粉学会 花粉情報等標準化委員会: https://square.umin.ac.jp/psj3/jp/PSJ_polleninfo_standardization.pdf